

常総市地域福祉計画アンケート調査 報告書 ～ボランティア団体～

1. 調査の目的

活動の実態や地域福祉の課題などについてのご意見をお聞きし、計画策定の基礎資料とするために実施する。

2. 調査方法

(1) 調査対象

地域福祉の担い手となっているボランティア団体 24 団体

(2) 調査方法

- ①郵送配布、郵送回収
- ②インターネット

(3) 調査期間

令和 6 年 8 月 1 日（木）～令和 6 年 8 月 19 日（月）

(4) 回収状況

回答数 19 件

3. 調査結果

■活動内容について

- 活動内容は、高齢者への支援活動、地区社協としての活動、地域住民の交流に関する活動が多くっており、やりがいがあるという回答が 68.4%となっています。
- 今後の活動については、今の活動を維持していきたい、維持することで精一杯が 68.4%となっています。拡げていきたい活動などについては、自団体ではできない支援事業との連携が望まれています。

■団体について

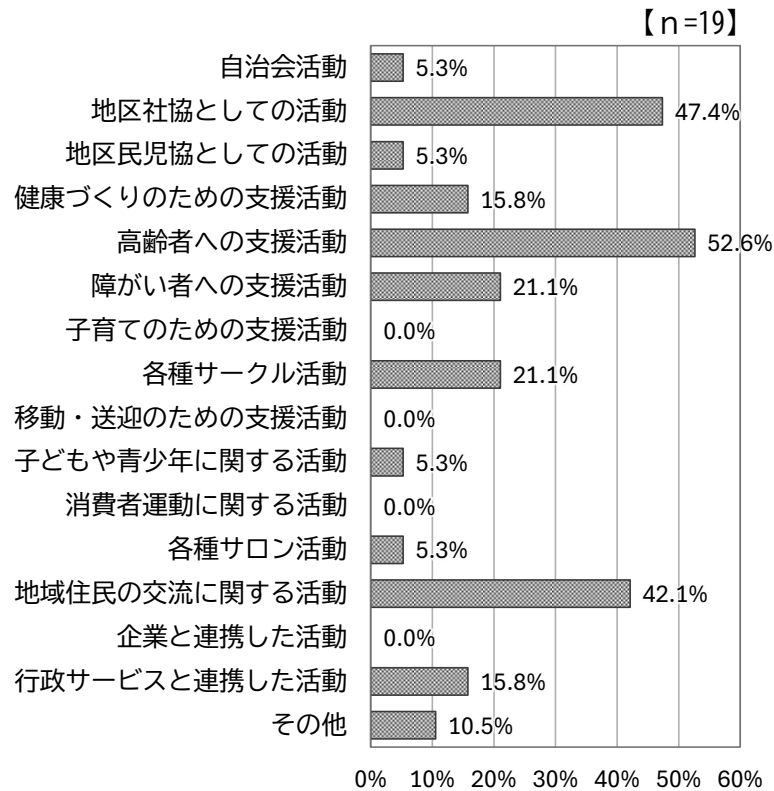
- 会員数は半数以上が 20 人未満となっており、会員の高齢化、新しい会員が入ってこないことなどが、活動をする上での課題となっています。
- 80%近くが新規会員を増やしたいと考えています。会員を増やすための取り組みとしては、友人・知人への依頼、チラシの作成などが中心となっています。
- 他の団体との交流については、交流や連携を図っている団体はないが 36.8%と最も多く、定期的に交流や連携を図っている団体があるは 26.3%となっています。また、今後、交流や連携を図っていききたい団体については、42.1%がないと回答しています。

問1 貴団体の活動について教えてください。

回答者No.	団体名
1	なごみ
2	サークルきぬ
3	常総市シルバーリハビリ体操指導士の会
4	傾聴ボランティア ダンボ
5	やまゆり
6	社協 ボ連協登録サークル J C 写輪
7	コスモス
8	パネルシアターハミング
9	水海道手の会
10	ボナペティ
11	すぎの子
12	さくら会
13	食事ボランティア つくし
14	まんまる玉
15	しらとり会
16	ボランティアサークル みつま
17	まちの研ぎやさん
18	点訳サークル てんてん
19	石下ぼらんていあの会

問2 貴団体の主な活動はどのような内容ですか。(あてはまるものすべてに○)

○活動内容は、「高齢者への支援活動」(52.6%)、「地区社協としての活動」(47.4%)、「地域住民の交流に関する活動」(42.1%)が多くなっています。

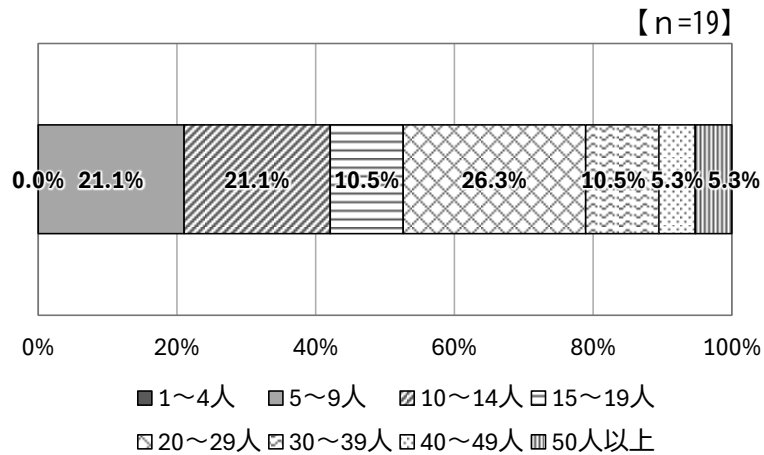


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
3	高齢者の介護予防の体操を市内 47 カ所で実施
17	公共施設や老人ホーム及び市民から依頼された刃物(包丁、ハサミ等)を無料で研ぐこと。

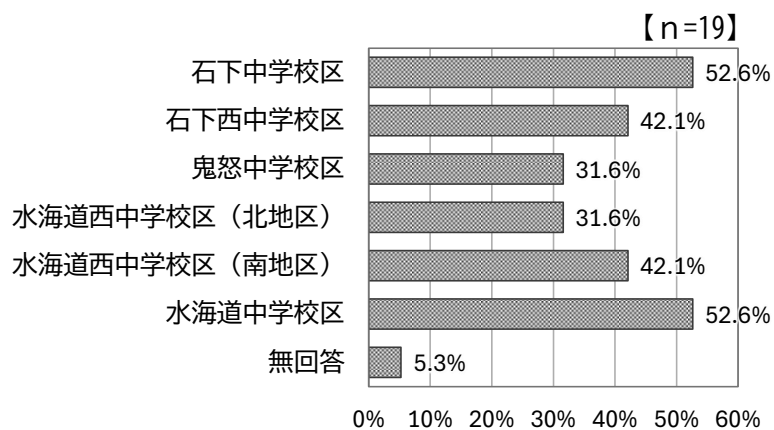
問3 貴団体の会員数は何人ですか。(1つに○)

○会員数は、「20～29人」が26.3%で最も多くなっていますが、「5～9人」(21.1%)、「10～14人」(21.1%)、「15～19人」(10.5%)で、半数以上が20人未満となっています。



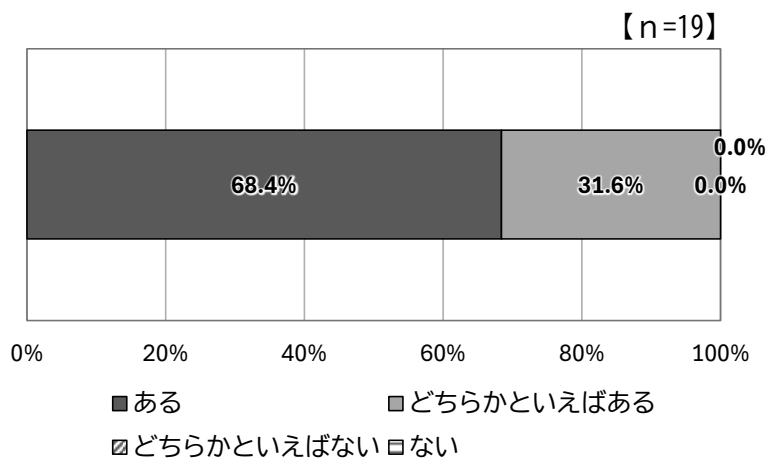
問4 貴団体が主に活動しているところはどちらですか。(あてはまるものすべてに○)

○活動している場所については、「水海道中学校区」(52.6%)、「石下中学校区」(52.6%)が多くなっています。



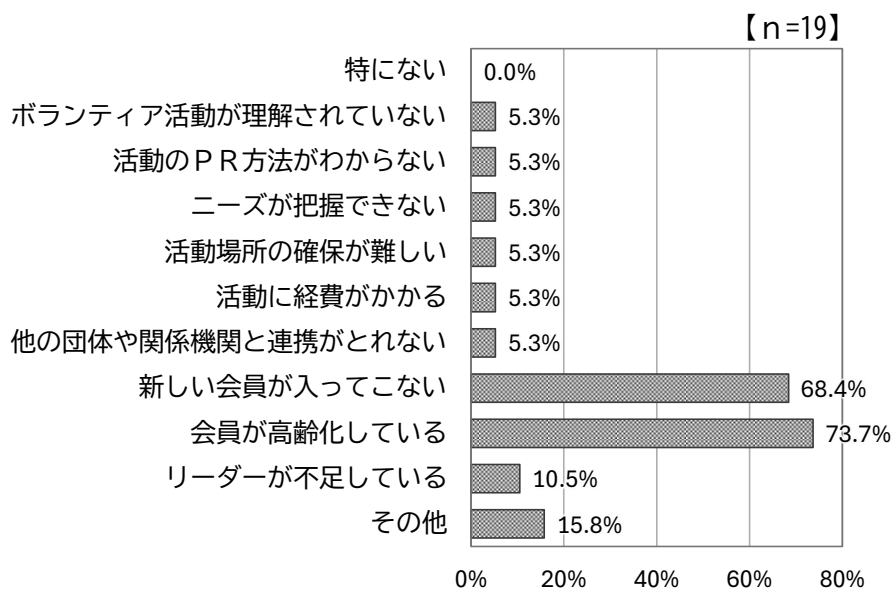
問5 活動について、やりがいがありますか。(1つに○)

○やりがいについては、「ある」が68.4%、「ない」が31.6%となっています。



問6 ボランティア活動上の課題や問題点がありますか。(3つ以内で○)

○課題や問題点については、「会員が高齢化している」(73.7%)、「新しい会員が入ってこない」(68.4%)が多くなっています。

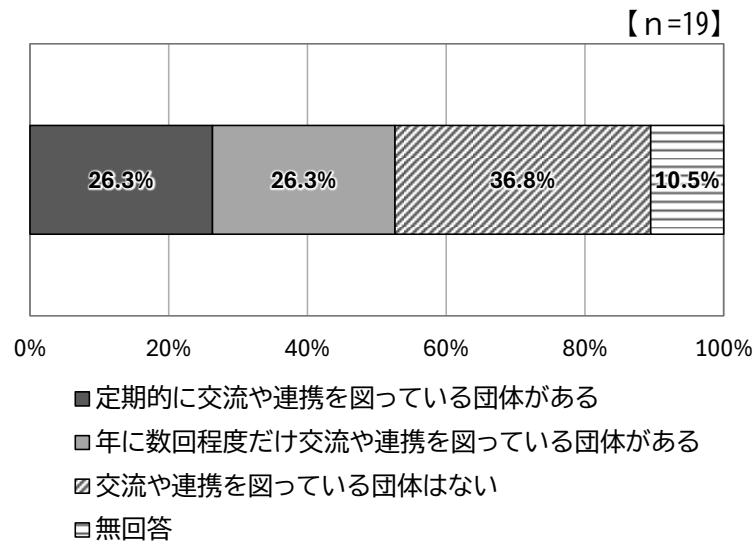


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
10	活動場所の調理室は2階、会食場所は1階なので、配膳が大変です。 (施設にエレベーターはない)
12	・ボランティアの積極的な勧誘(が不足している)をしていきたい。 ・送迎ボランティアがなかなか見つからない。
14	ボランティアをされる方の新規加入が増えない

問7 貴団体では、他の団体（行政は除く）と交流や連携を図っていますか。（1つに○）

○他の団体（行政は除く）との交流については、「交流や連携を図っている団体はない」が 36.8%で最も多くなっています。



〔問7で「1」または「2」とお答えの方〕

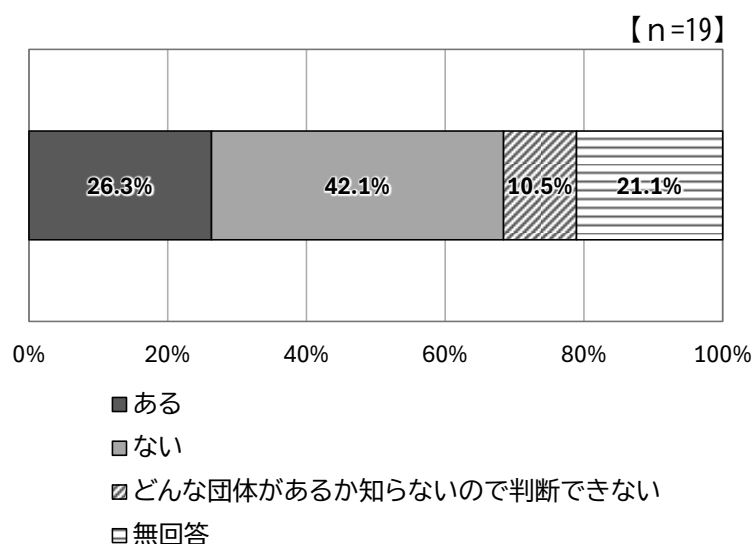
問7-1 現在、交流や連携を図っている団体を教えてください。

回答者No.	団体名	活動内容
2	プリズム	「カラオケグランプリ」（年1回開催）の際に、会場で要約筆記活動をする。
3	茨城県理学療法士会	市内47カ所の教室のうち、希望する教室が介護予防の話等をお願いしている。
	常総市シルバークラブ	市社協、市シルバークラブ、シルリハ体操指導士会が共催して、実技等を交えて市民への広報活動をしている。
6	社協 ボ連協登録サークル	サークル活動の写真撮影と展示
	シルバークラブ	サークル活動の写真撮影と展示
	健康推進（委）	サークル活動の写真撮影と展示
7	パネルシアターハミング	食事のあと、レクリエーションとしてフラダンスやコカリナなどを通じて、高齢者の人たちも一緒に歌ったり踊ったりしている。
	コカリナ あすなろ	食事のあと、レクリエーションとしてフラダンスやコカリナなどを通じて、高齢者の人たちも一緒に歌ったり踊ったりしている。
	クラレアレア（フラダンス）	食事のあと、レクリエーションとしてフラダンスやコカリナなどを通じて、高齢者の人たちも一緒に歌ったり踊ったりしている。
9	サークル きぬ	要約筆記
	常総コカリナサークル あすなろ	コカリナ演奏
10	ひまわり	水海道地区「お食事会」の接待を担当

11	NPO法人WITH	研修会等への参加。カラオケ大会に参加
12	常総コカリナサークル	お食事会のお楽しみとして、コカリナ演奏をお願いしている。
	坂手よさこい	お食事会のお楽しみとして、よさこいソーランをお願いしている。
	オカリナ「アンサンブル絆」	お食事会のお楽しみとして、オカリナ演奏をお願いしている。
14	コカリナの会	コカリナ演奏、手話等交えて合唱
	ボランティアの会（コーラス）	コーラスを聞いたり、一緒に歌ったりする
	しらとりの会	尺八やうたの鑑賞をする
17	市内の各地区地域公民館	公民館まつりに協力
	あすなろの里	施設で使用する刃物類の保守

問8 今後、交流や連携を図っていきたい団体はありますか。（1つに○）

○連携や交流を図りたい団体の有無については、「ない」が42.1%で最も多くなっています。



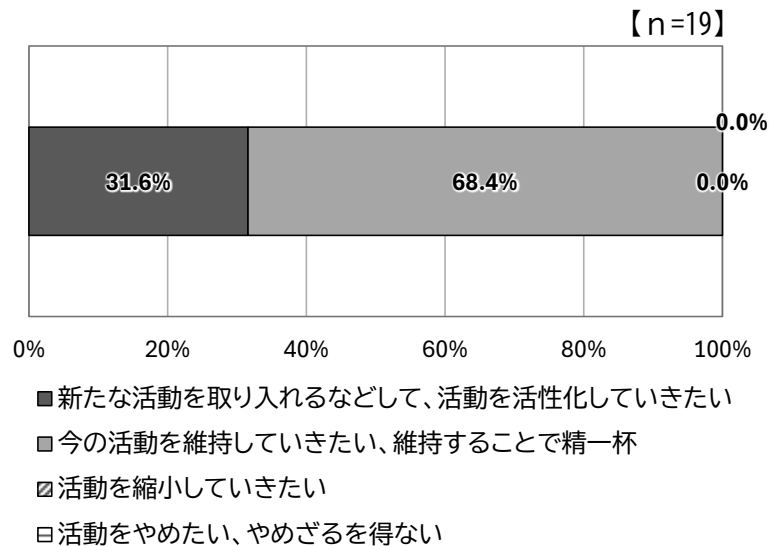
〔問8で「1」とお答えの方〕

問8-1 交流や連携を図っていきたい団体を教えてください。

回答者No.	団体名	活動内容
2	水海道手の会	手話と要約筆記により聴覚障害がある方を支えていければと思う。
3	シルバークラブ	高齢者に対し、シルバーリハビリ体操を普及したい。
	市内の各種文化サークル等	高齢者に対し、シルバーリハビリ体操を普及したい。
6	該当する地区の町内会	町内会の行事の写真撮影と地区公民館での展示
12	ふうせんの会	お食事会参加者にバルーンアートの楽しさを知っていただく。

問9 貴団体では、今後どのように活動していく予定ですか。（1つに○）

○今後の活動については、「今の活動を維持していきたい、維持することで精一杯」が 68.4%で、「新たな活動を取り入れるなどして、活動を活性化していきたい」は 31.6%となっています。



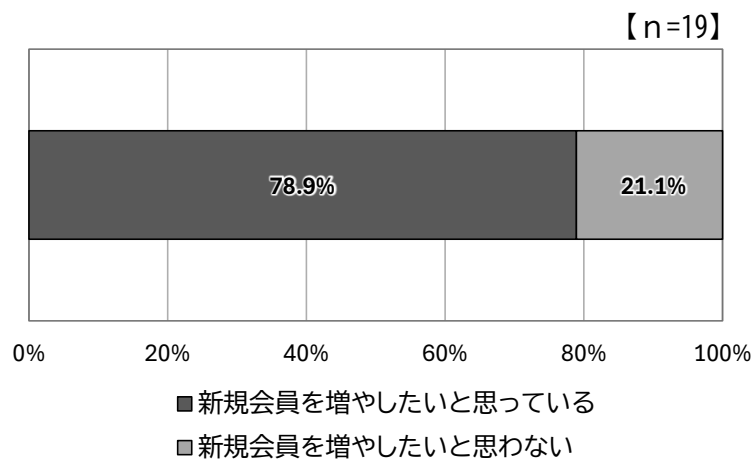
問10 問9で回答した理由を具体的にお書きください。

回答者No.	理 由
2	コロナ禍後、ある程度自由に動ける世の中になってきたように思う。しかし途中失聴者や高齢者の聞こえの不安は変わらない。なので、身近な集まりやちょっとしたミーティングの際などに、周りの会話を書いて見ていただき、コミュニケーションの補助の一つになっていくとより温かい社会になっていくと考える。
3	当指導士会は老人の方々が、人生の最後まで元気で介護されないためのシルバーリハビリ体操を広め、常総市内に教室を増やして、元気な老人を増やすためのボランティア活動とし、超高齢化社会に対応していきます。市高齢福祉課には、大変協力をいただいております、当会に対し引き続きご指導とご協力をお願いいたします。
4	今のままではギリ貧になる。他の団体を探したい。
5	後期高齢者の方々での活動状況なので、先が見えません。
6	私たちは写真を通してボランティア活動の輪を広げる事と、仲間づくりを目的に活動しています。しかし現状は、登録サークル間の輪は広がりますが、市民の皆さんへの広がりは少なく感じます。そこで、地区の皆への対応として、地区町内会を通して公民館等、身近な場所への写真の展示を考えています。
7	70才以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、お食事会を開催していますが、私たちボランティアも高齢者が多く、若い人たちに声掛けをしていますがお勤めをしたり子育てなどで、なかなか良い返事がいただけません。
8	会員の高齢化により、今の活動スタイルを維持するのが精いっぱいだから
9	少し手話ができる人がいるだけで、指導者がいない。したがって上級の段階に進めていない。学習教室と違い、サークル活動なのでこれで良しとする。（趣味程度）人が多く、楽しく続けていければ良いのかも。
10	会員 14 名中、11 人が 79 才～84 才の高齢者です。若い会員の入会の見通し

	が難しい現状に、幾ばくかの存続の危惧の念を抱いています。以前は保健センターの呼びかけで、月1回定期的に料理教室が開催され、1年間の研修を終えた方をお願いして入会していただいたりしていました。（現在は男性料理教室が年何回か開催されているようです。）昨今は、考え方や仕様が変化していることが多々感じられますが、昭和64年10月から継続している活動は参加者からの笑顔での「ごちそうさま。とてもおいしかったわ。満腹、満腹」の声に支えられて、次回もおいしいものをと頑張る源になっています。
11	親の高齢化で、親の亡き後のことが課題になっています。その為にもNPO法人WITHの皆さんの後見制度等の研修に参加して、子ども達が過ごしやすいようにとの目標になっています。
12	今の活動をしっかりと継続し、無理なく充実していきたい。
13	ボランティアの人が高齢者のため
14	ボランティアの会員及び参加者が減少しつつあります。人員の確保に努めたいと思っています。現在活動中の内容等を地域の人にもっと周知していったり、勧誘していきたい。
15	ひとり暮らしの高齢者の食事会の活動を行っているが、送迎のための運転手も高齢となり、苦慮している。
17	会員の減少&高齢化に対応出来ない為
18	受け身の活動が多いので、今よりもさらに積極的に取り組める活動内容を模索していきたい。
19	会員の高齢化により活動内容を少し変更しながら無理なく維持していく

問11 貴団体では、新規会員を増やしたいと考えていますか。

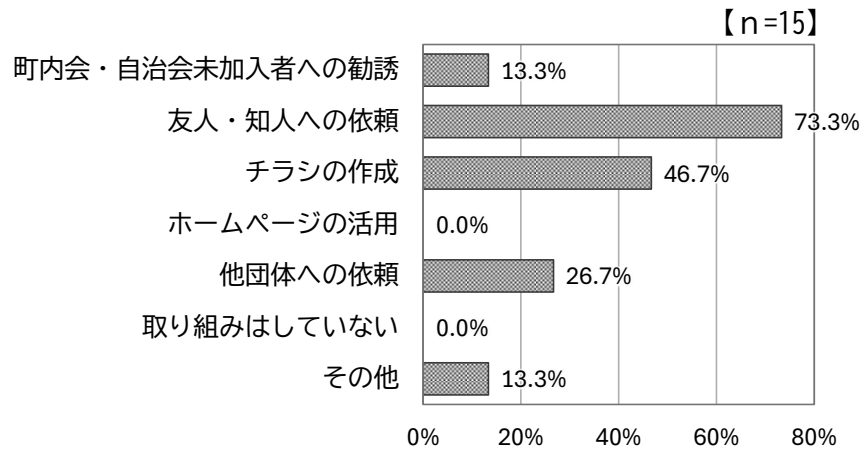
○新規会員については、「新規会員を増やしたいと思っている」が78.9%となっています。



問 11－1 貴団体では、会員を増やすため、どのような取組を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

○新規会員を増やすための取組みについては、「友人・知人への依頼」が 73.3%で最も多く、次いで、「チラシの作成」が 46.7%となっています。



◆その他の意見

回答者No.	記述内容
3	行政をお願いしている。一部の教室は自治区や町内会に依頼してパンフを配布している。
12	積極的な取り組みはしていない

問 12 今後、活動内容を広げたい点や強化したい点がありましたら、その内容をご記入ください。

○活動内容を広げたい点や強化したい点については、現在の活動で精いっぱいという状況が窺える他、自団体ではできない支援事業との連携を求めるニーズが見られます。

回答者No.	内 容
2	メンバーの高齢化により、活動に参加できる人間が確実に減ってきている。そのため、より若い人たちに参加してもらいたいと思うが、なかなかそのようにはうまくいかない。そこで中高生をターゲットに要約筆記（ノートテイク含む）の理念、方法の出前講座のようなものができたら、と思っている。
3	当会は老人が最後まで楽しく元気で暮らせて、介護されない体づくりに尽くしていきたい。我々の会は財源が少ないので、今までは 72 名の会員で負担し合って運営しているので、年間数万円の助成をいただければと考えております。
4	高齢者施設に活動を広げたいが、コロナ等で中々うまくいかない。
5	現状維持することです。
6	① J C 写輪の会員が該当する町内会の行事に積極的に参加して、写真撮影を行うこと。 ② ボランティアサークル活動の写真や、町内会行事の写真を、地区の公民館に展示すること。 私たちの活動は写すだけでは何の効果もありません。展示して皆さんに見ていただくことが重要です。
9	問 10 で書いたように、指導者がいないので、市内にお住まいの方でサークルに遊びに来てくれる方を市なり社協で紹介してもらいたい。また、他市町村の社協との交流も図ってみたいです。
10	「水海道地区お食事会」は自力で会場に来られることと、80 才以上のひとり暮らしが条件となっています。その為、足の問題（移動）であきらめている人もいます。送迎システムがあればとの思いは以前からありましたが、送迎ボランティア募集の折も、申し込みはありませんでした。多くの難題があることも承知していますが、何かよい方法はないのでしょうか。1 人食事が多い日常に、月 1 回でも集いの中で楽しく食事ができたらとの思いを持っています。
11	障がいを持っていても地域で心豊かに過ごしてゆきたいとの基本があります。地域で障がいを持っている両親へのつながりを持ってゆけたらと思っています。
12	・ボランティア会員が高齢化しているため、新会員の積極的な勧誘をし、活性化を図っていききたい。 ・参加者（高齢者）の送迎は必須ですが、責任があること、高齢化していることなどから、なかなかお願いすることができません。民生委員の方にと考えていますが、実施日（第 3 水曜日）と民生委員の会議が重なることが多く、断念しています。実施日（第 3 水曜日）は参加者のデイサービス利用日を調整し、誰もが参加できる日です。
17	現有の人員と規模が保たれなくなったら終焉します。
18	点字を必要とする方への支援や、地域のみなさんへの点字の啓蒙活動

問 13 地域みんなで支え合うまちづくりを進めていくことに関して、あなたのご意見・ご提言などを自由に記入してください。

回答者No.	自由意見
2	となり近所の方とのコミュニケーションをより強くしていくイベントがもう少しあれば良いと感じる。以前はお祭り、冠婚葬祭等でそれがなされていたように思うが、コロナによりだいぶ薄い付き合いになってきた。高齢者の方々はあまり出歩くのはきついと思われるだろうが、近所数件のグループからで良いので、なにか良いアイデアで濃い人間関係が保たれれば、それが災害時にも生きるように考える。
5	次世代に変わっていくことを願っています。体力と頭がついていければ、少しだけお手伝い又協力していければと願っています。
6	最近の組織的活動の進め方を見ていると、昔の状態とはかなり変化していると思います。例えば「祭りは子どもも…、お年寄りも…色々な立場の人が何らかの役割を果たすように構造上デザインされている」と言われています。このような機会が地域の支え合う街づくりの第一歩だと思います。役員だけで…とか、俺が…とかが目につきます。先はまちづくりの中心の人たちやグループリーダーが変わらなければと思います。
9	大人になってから急にボランティアと言っても、他人事としか聞いてもらえない。中高生の時から授業の一環として障がい者施設等の体験教室に参加させる。福祉・ボランティアがどういうものか体験させる。
10	近い将来に、新しい公民館ができることを願っています。現在利用させていただいている水海道公民館は、昭和 48 年建設とのことで、一部 3 階建て、エレベーターもなく、誰もが利用できると言い切れません。平成 31 年 2 月の市議会では（傍聴しました）新築や移築など、市の活性化を総合的に考え、10 月に調査結果を提案できる予定とのことでしたが、その後の進展は分からずにおります。市民の動線の多い所とか市役所近辺とか、皆が利用しやすいシステムで、高齢者の私たちにも活動の集いができる施設ができるであろうと期待し、現在の活動に励んで参ります。
11	結成した当時とは、今はずいぶん社会環境が変わっています。でも、人と人とのつながりは大切に思います。個人でも地域の交流会等に参加してゆきたいと思っています。
12	趣味の会、ボランティアの会、健康づくり体操の会、行政主導の各種講座などに参加することは、地域の輪を広げていく大事な手段（コミュニケーションをとる、情報交換をする）かなと考えています。
14	まんまる玉食事は、ひとり暮らし又、昼独の人が集まって、ボランティアの皆さんと一緒に食事をとったり、ゲームをしたりして楽しい時間を過ごしていますが、高齢者が多いこの地域では、ひとり暮らしに限らず、みんなが気軽に集まってお茶をしたり、レクリエーションをしたり、そんな時間が作れたらいいなと思っています。隣り、近所との交流がほとんどなくなってしまっているのです。
16	独居老人の食事サービスを月 1 回程度、公民館において実施しています。高齢化で一人暮らしの方が多くなっています。月に 1 回でも会話やレクリエーションを通して楽しんでいただくことに心がけています。
17	各地域に若いリーダーの育成が必須です。その為には、先ず、若者が地域に留まる街づくりを考えた行政施策が肝要です。
18	距離感は難しいと思いますが、無関心、無知をなくすることが大切だと思います。

	ます。
19	私たちの会では、「子どものときから福祉の芽（目）を」テーマに、助け合う、支え合う心は子どもの時から、そして家庭から、日常生活のなかで自然と育っていくことが大事なのではと、子どもたちを対象とした様々な活動もしてきました。 家庭という小さな枠から広く地域へと広まるよう今後も出来ることをしていこうと思います